

■「桂川町学力向上プラン」と  
関連付けた各学校の取組

桂川町教育委員会 学校教育課

今回は、令和5年度「全国学力・  
学習状況調査(小6、中3)」および  
「福岡県学力調査(小5、中1・2)」  
の結果から見える授業づくりや学力  
基盤づくりに係る「課題」と各学校  
の取組についてお知らせします。  
「課題」は、次の5点です。

- ① 基礎的な知識・技能を定着させるた  
めの反復学習
- ② 主体的な学びに向かう授業づくり
- ③ それぞれの考えを比較、関係付ける  
ためのICTを活用した授業づくり
- ④ 学力層に応じた指導
- ⑤ 学年間、教科間における取組の格差

「桂川町学力向上プラン」で、次の  
ような視点を掲げ、各学校がその課  
題解決に向けて取り組んでいます。

【授業づくり】

◎「授業スタンダード」をもとに学習  
のめあてをもち、学びの変容を自覚  
する振り返りの場の設定(課題②⑤)  
各学校では、問題への出合わせ方  
を工夫し、児童生徒に問いを持た  
せ、めあてへとつながることはでき  
てきました。しかし、振り返りの時間  
が十分に確保できていないのが現状  
です。今後は、授業の内容を焦点化  
する必要があります。

◎学習支援ソフトを使ってそれぞ  
れの考えを共有し、比較、関連付け  
する活動の実施(課題③⑤)

小・中学校ともに、ICT機器の  
使用頻度が増えてきました。今後は、  
学習支援ソフトを効果的に活用し、  
深い学びへと導くことが必要です。

【学力基盤づくり】

◎集中力や既習事項の習得・忘却防  
止を目的とした朝学習や帯学習の  
実施(課題①)

小学校では、「はげみタイム」や「  
びっ子タイム」と名付けて、朝学習  
に取り組んでいます。中学校では、  
「はげみの時間」を設定し、反復学  
習に取り組んでいます。

◎学力層に応じた補充学習・支援資  
料の活用(課題④)

小学校では、算数科の重要単元を  
中心に、習熟度別分割学習に取り組  
んでいます。中学校では、「補充発展  
の時間」を設定し、学力層に応じた  
学習に取り組んでいます。

■毎日の積み重ねを大事に  
桂川中学校 校長 安藤 能之

桂川中学校では、毎日の授業の充  
実はもちろんですが、それ以外にも  
学力の向上に向けた様々な取組を  
行っています。例えば

◎朝はげみ

毎朝、朝の会の前10分間を学習の  
時間にします。特に1・2年生は2  
学期の途中から数学と英語に教科を  
絞って勉強しています。まとめのテ  
ストを行って、それを基に補充学習  
も行います。

◎リカバリーウィーク

定期考査などに向けて、自分の目  
標点数と、その達成のための取組を  
自分で考えます。テストが返つてき  
たらその結果をもとに自分の課題を  
見つけてリカバリーポイントシート  
を作ります。教員も課題分析を行っ  
て次の小テストで指導を続けます。

◎英単語ノート

単語力の向上を目指して、全校生  
徒にノートを準備しました。その  
ノートの1日1ページの単語練習を  
行い、週に一度提出します。教員が  
提出状況や内容に関する指導を行  
います。

◎よむYOMUタイム

文章読解力の向上を目指して、実  
際の新聞記事を読み込み、それに

沿った問題を解くことで長文読解に  
挑みます。

また、福岡県教育委員会の「鍛ほ  
めメソッド」を活かした次の取組も  
行なっています。

◎英語検定(英検)の実施

自ら希望して土曜学習教室に参加  
する生徒たちは英語検定試験(英検)  
にも挑戦します。2学期の検定では

5級	： 4名
4級	： 6名
3級(一次)	： 11名
準2級(一次)	： 1名

の生徒が合格しました。「鍛えて、  
ほめて、子どもの可能性を伸ばす」  
という視点のもと、取組をすすめて  
います。

このように、学校では日々の授業  
のほかにも、様々な取組を積み重ね  
ています。そして、このような取組  
においては家庭での協力も必要な  
ところではあります。

ぜひ、家庭においてはお子様に声  
をかけていただき、時には励まし、  
時には努力を誉め、認め、また時に  
は指導もしながら、子どもたちの成  
長への支援をしていただけたらと思  
います。

職員も精一杯努めますので、今後  
ともよろしく願っています。